



令和3年度 わくわく事業補助金の交付団体を紹介

団体名：しもやま A I 活用プロジェクト
事業名：A I を活用した獣害撃退システム

団体名：水曜会
事業名：下山地区名 看板更新事業



代表の梅森正人さんによると、「農業の担い手減少を地域課題ととらえ、農地の保全に役立つ技術開発で地域に貢献したい」という思いから初めてわくわく事業に申請したそうです。

今年度は、画像認識 AI プログラムを活用した有害鳥獣捕獲・駆除に取り組み、罠の見回りや捕獲の効率化に関する実証実験を行います。

この団体は、毎月第 2 水曜日に集まり、下山地域の伸展に寄与すること、奉仕活動、会員の研修等を目的に活動を行っています。

約 15 年前、活動の 1 つとして下山地域の町名案内看板を設置しました。

今年度は、わくわく事業補助金を活用して地域への愛着形成などを目的に町名案内看板 27 枚のうち 14 枚を更新します。



令和4年度 わくわく事業の募集時期変更のお知らせ

令和4年度のわくわく事業の募集日程が以下のとおり変わりますので、申請予定の団体はご注意ください。詳細な内容は、12月15日号で掲載予定です。

	令和3年度まで	令和4年度以降
わくわく事業の募集	3月中	1月中
審査会の開催	5月中旬	3月中下旬
補助金交付決定通知の発送	5月下旬	4月上旬

10月15日号の訂正とお詫び

しもやま支所だより（10月15日号）1ページに記載した巻号「vol.199」が「vol.198」の誤りでした。訂正し、お詫び申し上げます。

しもやま支所だよりは、豊田市ホームページからも見ることが出来ます。 <http://www.city.toyota.aichi.jp/>





令和4・5年度 下山地域会議委員の募集

下山地域会議は、地域が抱える課題を解決に向けて話し合う組織です。

令和3年度から始まった「しもやまマイルプラン」の推進に向けて、地域一丸となって取り組んでいただける方を募集しています。

募集要項、選考方法などは、下山支所へお問い合わせいただくか、豊田市のホームページをご確認ください。



▲下山地域会議委員の募集



豊田市シルバー人材センター下山支所が**新入会員**を募集

あなたの空いた時間を活用しませんか？

- 入会要件：①下山地区在住でおおむね60歳以上の健康で働く意欲がある方
- ②シルバー人材センターの理念に賛同していただける方

仕事内容：主に下山地区の草刈り、草取り、剪定、施設清掃など

入会方法：随時説明会を開催します。

入会を希望する方は、下山憩の家までお越しください。

問 合 せ：豊田市シルバー人材センター 下山支所（下山憩の家）

電話 0565-91-1221

（午前8時30分～午後5時）※土日祝日は除く



とよ太郎



とよ姫

空き家を事業活用した事例を紹介



出張専門ママン助産院 ままんじょ(花沢町小豆畑)



花沢町在住の祝^{ほうり}由香里さんが出張専門ママン助産院ままんじょを始めました。

祝さんは、豊田市空き家情報バンクで花沢町の空き家を購入し、十塚町で行っていた助産院を移転しました。

現在は、自然を感じながら子育てや仕事ができる助産院事務所兼レンタルスペースとして利用しています。

利用方法などの詳細は、以下の二次元バーコードからホームページをご確認ください。

このように空き家情報バンクは、居住用だけでなく、事業用としても活用ができます。

空き家または空き家の情報をお持ちの方は、下山支所または自治区長、組長へご相談ください。



▲ままんじょ



▲豊田市空き家情報バンク



▲出張専門ママン助産院 ままんじょ

【出張専門ママン助産院 ままんじょ】

住 所：花沢町小豆畑1-5

電 話：050-5491-4979

E-mail：maman@aqua.plala.or.jp



トヨタ工業学園の地域貢献活動を4自治区が受入れ



▲阿蔵自治区 保殿七滝周辺の環境整備



▲下山中学校 イスのペンキ塗り



▲三巴自治区 河津桜の苔取り



▲田平沢自治区 もみじ街道の整備



▲大沼自治区 大沼城址の整備

10月8日(金)、22日(金)に阿蔵自治区をはじめとする4自治区がトヨタ工業学園の地域貢献活動を受け入れました。

10月8日(金)は、阿蔵自治区、大沼自治区、三巴自治区、田平沢自治区で保殿七滝周辺の環境整備や下山中学校で投てき板の錆落とし、屋外のテーブル、イスの修繕などを行いました。

10月22日(金)は、大沼まちづくり部会が学園生113名を受け入れ、洞樹院弘法の山道や大沼城址の草刈り、清掃などの整備を行いました。

しもやま支所だより7月15日号でも紹介した

この活動は、集落の高齢化や人材不足により集落単体で解決が困難になった地域課題をトヨタ工業学園の生徒と共働して解決しながら、山村地域と継続的にかかわりを持つ人材「関係人口」を増やすことを目的としています。

次回は、11月5日(金)に三河湖周辺や花山自治区等で活動する予定です。



三河湖にニジマス100kgを放流



三河湖漁業協同組合が10月16日（土）に三河湖へニジマス100kg（約800匹）を放流しました。

当日は、地域住民や子どもたちが参加し、三河湖ボート乗り場の入り口から栈橋までニジマスをバケツリレーで運びました。

その後、三河湖上の釣り堀が無料開放され、大自然の中、親子で魚釣りを楽しんでいました。



下山中学校が50周年記念事業で記念式典を開催

10月16日（土）、下山中学校が創立50周年記念式典と文化祭を開催しました。

記念式典では、創立50周年記念エンブレムの表彰や社会で活躍している卒業生3人のトークショーを行いました。

生徒たちは、卒業生から中学生時代から現在までの歩みや仕事の様子などを聞き、これからの将来について考える良いきっかけになりました。



秋のしもやまを大満喫！三河湖ウォーキング



10月23日（土）、豊田市しもやま観光協会が秋のしもやまを楽しめる三河湖ウォーキングを開催しました。

約3キロから約13キロの3つのコースを324名の参加者が選び、湖や森などの大自然に癒されながらゴール地点を目指しました。

参加者には地区内で利用できる1,000円分の金券が配布され、各店舗では五平餅定食、へぼご飯やしいたけを使った特別メニューを用意し、秋の下山を満喫できるイベントになっていました。



五ヶ丘小学校が下山地区でセカンドスクールを実施

10月26日（火）、29日（金）、五ヶ丘小学校4年生23人、5年生26人が下山地区でセカンドスクール（農山村体験）を行いました。

生徒たちは、腰掛山荘で五平餅作りや魚釣り、手づくり工房山遊里で藁縄ないなどを行い、地域住民との交流を通じて山村地域の暮らしに理解を深めました。



▲しいたけ収穫体験の様子

下山交流館 まなびのひろば

豊田市下山交流館

開館時間：午前9時～午後9時

(図書の貸出・返却は午後8時まで)

休館日：月曜日(祝日、振替休日を除く)・年末年始

連絡先：TEL0565-91-1650/FAX0565-91-1030

ホームページ：<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

指定管理者：公益財団法人 豊田市文化振興財団



講座案内



かれんママ共催事業

リトミックで楽しく
クリスマス♪

【日時】12月15日(水)
10時30分～11時30分

【会場】下山保健福祉センター
まどいの丘

【対象/定員】未就園児の親子/25組

【申込み】11月21日(日)～
申し込み方法については
チラシまたは交流館ホーム
ページをご覧ください。

【内容】リトミックを親子で楽しむ

【講師】柴田広子氏(大沼町)



ハンドメイド講座 vol.

カルトナージュ体験

【日時】1月26日(水) 10時～12時

【会場】下山交流館 多目的ルーム

【対象/定員】どなたでも/12人

【申込み】12月25日(土) 9時30分～
窓口または電話

【内容】マスクケース作り

【参加費】1,200円(材料費込み)

【講師】アトリエエリカ
宮崎エリカ氏(花沢町)



完成まであと少し・・・

施設改修工事進捗状況



交流館バリアフリー化整備工事のトイレ改修工事が12月中旬に終了予定です。

多目的トイレとしての機能が備わります。

エレベーター増築工事は令和4年2月終了予定です。(状況によっては予定が変更になる可能性があります。ご了承ください。)

お知らせ



学習室開放について

学生の方へ無料開放中!

利用のない部屋を、学生の方を対象に無料開放しています。ご利用の方は窓口にお申し出ください。

利用時間 午前9時～午後8時

(中学生以下は午後5時まで)



ロビー展示のご案内

11月17日(水)～12月26日(日)

★下山支所側ロビー平日のみ開催★

次井 みな子・よつば会
布小物

＝ 掲示物のお知らせ ＝

☆こども園・小学校・中学校だより

☆花山自治区・和合自治区だより

☆しもやま駐在所だより 他

交流館1階廊下に掲示しています。ぜひご覧ください。



大蛇がいた蛇淵のお話

蛇淵とからりと捕り

絵と文 ながむらゝるゝ



昔、巴川の岸にはからりとが棲んでおった。なからりその来らから上等の毛皮はくても高く売られたので、猫師がからりその毛皮目当てに捕まえては売り、からりとはうんと減ってしまった。

さて、巴川の平瀬と板立の境江川の淵蛇淵には大蛇が棲んでおる。人々は恐ろしがって近寄りななだ。それだからからりとは人の寄りない蛇淵の川辺にひっそり棲みつておったよ。さあ、蛇淵にからりそのが棲んでおると気付いた欲の深い猫師があった。向とか捕りたい。だが大蛇が怖い。とて、気のいい男を誘い、二人で山分けだと蛇淵へ出かけた。見張つておって、大蛇を見たし大声を出せと言いつけ、猫師はからりその巣を探した。長年からりそのを捕ってきた猫師だ。じきに巣を見つけた。さあ、さあ、とて、猫師の心に悪い欲がむくむくと膨らんだ。『このおれ見るとも、けのあいつに教えたなら、おれの取り分が減る。』と、思った。とて、猫師は周りの草をきるさあ、とて、大蛇は、見張った男は、

より合おせ、うわー、と大声を上げた。大蛇だあ、大蛇だあ、見張った男は、びくり仰天。草纏に驚き、目散り逃げ出した。猫師も逃げた。いや、逃げる。ふりをした。さあ、とて、さあ、とて、蛇淵へ戻って来た。欲の深い猫師は草纏を見つけると、口元をにやにやさせて、へっ、と、さあ、とて、さあ、とて、欲の深い猫師は、パクッ、大蛇に飲み込まれてしまった。とて、

